

2017 年 11 月 22 日

研究に関するお知らせ

研究の名称：医事課ファイルを用いた抗菌薬使用量調査の有用性の検討

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院 AMR臨床リファレンスセンターでは、以下にご説明する研究を行います。

■研究目的・方法・対象

感染症を起こした細菌などに対する治療として用いる“抗微生物薬”の効かない菌（AMR：薬剤耐性微生物）が世界的に増えています。その対策として本邦でも2016年にAMR対策アクションプランが策定されました。これまでの研究で、病院などの医療機関において抗微生物薬の使用量(Antimicrobial Usage = AMU)が増えれば増えるほど、薬剤耐性微生物が増えることがわかっています。そのため、アクションプランには医療機関でのAMUを継続的に監視するように記載されています。医療機関で、簡便かつ正確にAMUを監視する方法が求められており、我々はAMUを把握するためのソフト（Antimicrobial Consumption Aggregate System = ACAS）を開発しました。今回、医事会計に関するEFファイルを用いたACASによるAMUと実際のAMUの比較を行い、ACASの有用性の検討を行います。

■研究期間

西暦2016年4月1日～2020年3月31日まで

■研究対象・研究に用いる情報の種類

対象としては、2016年4月1日から2017年3月31日までの1年間に国立国際医療研究センター内で使用された抗菌薬および抗真菌薬の使用量になります。上記期間中に当院で（外来・入院を問わず）抗菌薬・抗真菌薬を使用された方は、その使用量のデータ（薬剤名、薬剤使用量、薬剤使用日）のみ研究に使用させていただきます。

■研究計画書等の入手・閲覧方法・手続き・手続きにかかる手数料等

あなたのご希望により、この研究に参加してくださった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡しすることができます。ご希望される方は、どうぞ記載のお問合せ先にお申し出ください。

■個人情報の開示に係る手続きについて

本研究では、患者を匿名化してデータを収集致します。使用に際しては、政府が定めた倫

理指針に則って個人情報 を 厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。みなさまに新たにご負担頂くことはございません。

■研究責任者：

国立研究開発法人国立国際医療研究センター 国際感染症センター 早川 佳代子

■お問い合わせ先

国立国際医療研究センター病院 AMR臨床リファレンスセンター

〒162-8655 東京都新宿区戸山1-21-1

電話：03-3202-7181

担当者：AMR臨床リファレンスセンター 田中 知佳

■掲示場所・交付場所

AMR臨床リファレンスセンターのホームページへの掲載

院内掲示板